

のう まも
脳を守ろう！

けいどがいしょうせいのうそんしょう
軽度外傷性脳損傷

M T B I

Ⓜild Ⓣraumatic Ⓟrain ⓘnjury



MTBIとは

こうつうじ こがいしょう であたま ちよくせつう であたま つよ ゆ
交通事故や外傷などで、頭を直接打ったり、または頭が強く揺

さぶられると、のう しょうげき つた のうそんしょう お
脳に衝撃が伝わり、脳損傷が起こることがあります。

しょうげき けいど けんさ がぞうけんさ ないじょう ばあい
衝撃が軽度でCT検査（画像検査）などに異常がない場合でも、

すうじつ すうしゅうかん しょうじょう あらわ ちゅうい ひつよう
数日から数週間たって症状が現れることがあるので注意が必要

です。

りかい MTBIを理解しましょう

MTBIと^{しんだん}診断されないまま、^{さまざま}様々な^{しょうじょう}症状に^{なや}悩まされたり、^{しゅうい}周囲
の^{りかい}理解が^え得られず^{おも}つらい^{ひと}思いをしている^{ひと}人がいます。

^{にちじょうせいかつ}日常生活や^{しゃかいせいかつ}社会生活の^{しづらさ}しづらさについて、^{ひとりひとり}一人一人の^{りかい}理解と^{しえん}支援
が^{たいせつ}大切です。



おも げんいん 主な原因

- ^{こうつうじこ}交通事故
- ^{がいしやう}スポーツ外傷
- ^{こうしよ}高所からの^{てんらく}転落
- ^{てんとう}転倒
- ^{ほうりよく}暴力
- ^{にゅうようじ}乳幼児の^ゆ揺さぶり

おも じ かくしょうじょう 主な自覚症状

- ^{じそく}持続する^{ずつう}頭痛
- ^め目のかすみ
- ^{だるさ}だるさ
- ^{しゅうちゅうりよく}集中力の^{ていか}低下
- ^{ことば}言葉がうまく話せない
- ^{りかい}理解ができない
- ^{かんしゃく}かんしゃく



よぼう MTBIを予防しましょう

- 赤ちゃんを強く揺さぶらないようにしましょう
- 椅子やベビーカーでは、ベルト等を使用し、転落を防ぎましょう
- 子ども（13歳未満）が自転車に乗るときは、ヘルメットを着用しましょう
- スポーツでは防具を適切に使用しましょう
- 転倒予防のための環境を整えましょう
(室内の整理、じゅうたん・マットの滑り止め、段差解消など)

しょき たいおう 初期の対応

交通事故などの後に次の症状が現れたら、医療機関を受診し

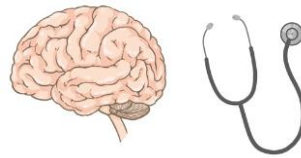
てください。

- 意識状態がいつもと違う
- 事故前後の記憶がない
- けいれん
- 手足に力が入りにくい、手足がしびれる



手足に力が入りにくいなどの症状は、事故後
数時間から数日、場合によっては数週間後に
現れることがあるので、注意が必要です。

MTBIの診断



MTBIの診断には全身の神経を詳しく診察する必要があります。

また、脳の病変が画像に写らないことが多く、眼科・耳鼻科・泌尿

器科・リハビリテーション科・整形外科・精神科・脳神経外科などの

協力による総合的な診断が求められます。



健康増進課でも、随時保健師による相談を行っていますの

で、ご相談ください。

<お問い合わせ先>

佐野市 健康増進課

電話 24-5770